

# ガイダンス& リアリスティック導入講義 全8弾

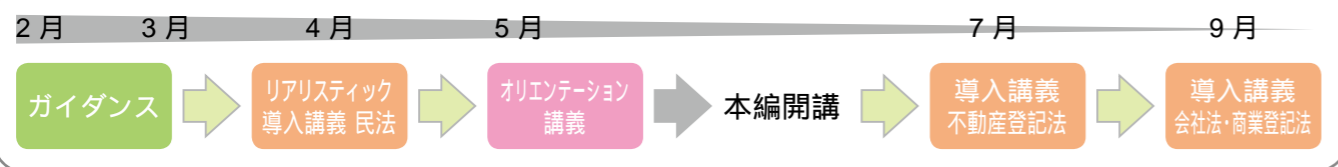
通学部も通信部も  
すべて無料

松本講師の5ヶ月合格法のノウハウの一部を公開します。  
聴くだけでもためになるお得なガイダンスです。



一部の科目については、本編開講後に実施します。  
ガイダンスの受講方法には次のものがあります(すべて無料)。  
LIVE参加: 予約は不要です。実施校に直接おこしください。  
通信部DVD申込: 別冊P.2の申込方法をご確認の上、お申し込みください。  
ストリーミング視聴: 辰巳ホームページのストリーミングチャンネルをご覧ください。  
詳細は別冊P.2をご覧ください。

ガイダンスの流れ



松本基礎講座では松本講師の講義の実際を体験していただくために豊富に無料の体験講義を用意しております。  
ガイダンス(第1~3弾)...受験勉強を始めるにあたって知っておきたい情報を提供します。  
リアリスティック導入講義(第4~5弾、第7~8弾)...講義を始める前のウォーミングアップとして民法、不動産登記法、会社法・商業登記法の全体像を学んでいただけます。  
オリエンテーション講義(6弾)...本編開講直前に、授業の受け方を説明します。  
講座の申込を決めた方は、導入講義とオリエンテーション講義を必ず受講してください。

ガイダンス	第1弾	東京本校LIVE 1/28(土) 14:00-15:00	司法書士の“リアルな”仕事・就職・収入
	第2弾	東京本校LIVE 2/18(土) 20:00-21:00	これが司法書士試験だ!ーデータで徹底解剖
	第3弾	東京本校LIVE 3/11(土) 14:00-15:00	合格者を多数輩出するリアリスティック勉強法とは?
リアリスティック導入講義	第4弾	東京本校LIVE 4/2(日) 14:00-15:30	リアリスティック導入講義 民法の全体像
	第5弾	東京本校LIVE 4/15(土) 18:30-20:00	リアリスティック導入講義 民法の全体像
オリエンテーション講義	第6弾	東京本校LIVE 4/30(日) 15:00-16:30	開講直前ガイダンス 「オリエンテーション講義~効果的な授業の受け方~」
大阪	第4+5弾	大阪本校LIVE 4/16(日) 14:00-17:10	リアリスティック導入講義 民法の全体像 リアリスティック導入講義 民法の全体像
	第7弾	東京本校LIVE 7/9(日) 18:15-21:30	リアリスティック導入講義 不動産登記法の全体像
リアリスティック導入講義	第8弾	東京本校LIVE 9/3(日) 18:15-21:30	リアリスティック導入講義 会社法・商業登記法の全体像

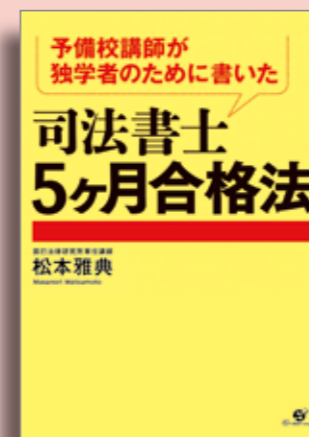
2018年受験対策

# 司法書士

## リアリスティック一発合格 松本基礎講座

教育訓練給付制度  
指定コースあり  
対象: 全科目一括

絶対に受かりたい受験生に  
絶対に受からせたい講師が  
講師自身が受験界最短で合格した方法論を提供する講座



Realistic

カタログCD: SS161220-01M 有効期限 2017年10月31日

辰巳法律研究所 Tokyo/Yokohama/Nagoya/Osaka/Kyoto/Fukuoka  
提携校: Okayama

<http://www.tatsumi.co.jp/>











# 松本式合格法

# 基本term

## M 検索先の一元化

「情報の一元化」と対比される概念で、「検索先の一元化」という考え方があります。「検索先の一元化」とは、ある知識が問題で問われた時に決まった箇所を思い出すということです。本番の試験に持ち込めるのは、文房具と「自分の脳」だけです。ですから、本試験である知識が問われた時に、頭の中でどこを検索するかを決めておくのです。

## M カコ問

「カコ問」とは、過去に本試験で実際に出題された問題のことです。過去の出題例を分析することによって、今後、本番で出題される問題が予想できます。また、カコ問と同じ知識も多数出題されます。よって、カコ問は重要です。この点を捉えて、下記の図の左にあるカコ問を繰り返し何回も解くという方法が、一般的となっています。

しかし、これが合格まで数年かかる要因になっています。なぜなら、本番の試験ではカコ問と同じ知識は出題されますが、①出題形式を変えて出題する、②カコ問の知識を2つ組み合わせて出題する、といったことがよくあります。つまり、右の図のように、同じ知識でも本試験の出題の仕方が異なり、対応できないということが多々あります。右の図では、3つしか「本試験」がありませんが、実際には何十種類も出題パターンがあります。



よって、どのような形で出題されても対応できるように上にあるテキストなどに検索先を一元化し、下から行くのではなく、上から行く必要があります。

## M 共通する視点

司法書士試験は、資格試験の中でも、記憶しなければならない知識が多い試験です。一つ一つ理解していくというのが基本ですが、それだけでは短期合格は厳しいのが実際のところ。そこで、ある項目を学習する時に「共通する視点」を使います。たとえば、民法で「地役権」というものを学習します。この地役権については、20~30個程度の知識を記憶しなければなりません。しかし、以下の2つの「共通する視点」を使えば、15~20個は一気に記憶することができます。

- ① 地役権とは、土地(要役地)のための権利であり、土地(要役地)にくっついている権利である。
  - ② 地役権の規定は、要役地の所有者に有利なように規定されている
- このように「複数の知識を共通する視点で切る」ということができるように、松本の講義では多数の「共通する視点」を提供します。

## M アウトプット (本当のOutput)

短期合格に重要なこと、それは「テキストの勉強=インプット、問題演習=アウトプット」と分けないことです。受験界では、アウトプットは問題を解くことだと言われています。しかし、本当のアウトプットとは、問題を解くことだけではありません。「Output」を辞書で引くと「出力する」などと出てきます。つまり、アウトプットとは「頭から出す」という意味です。多くの受験生は、問題を解いている時にしか「頭から出す」という動作をしていません。そうではなく、テキストなどを読む時にアウトプットをしながら読むと、非常に効率的な勉強ができます。上記の図にあるように、どのような形で出題されても対応できるテキストなどをアウトプットすることによって、最小限の労力で最大限の効果を出すことができます。

## M Recollect法

法律の勉強は、理解することによって知識を思い出すのが王道であり、それが最も重要であることに異論を唱える人はいません。しかし、法律は人間が作ったものですので、どんなに考えても理解出来ないこともあります。そこで、この「Recollect法」を使います。「Recollect法」とは、「思い出す方法」ということです。ある知識が問われた時に、どのように思い出すかをあらかじめ決めておき、本試験でその知識が問われた時には、それに従って思い出します。以下のような「Recollect法」があります。

- ・算数的Recollect法
- ・Relating・Recollect法
- ・ゴロ合わせ・替え歌Recollect法
- ・こじつけRecollect法
- ・漢字Recollect法
- ・知り合い当てはめRecollect法
- ・斜線Recollect法

これらのRecollect法を使いこなすことにより、理解できない事項も効率的に攻略することができます。本番でしなければならないことは、「思い出すこと」です。

## M 音声学習

単に「読む」「書く」ということだけでなく、「音読」などを勉強に取り入れると、勉強の効率は非常に上がります。単に読んだり書いたりするよりも、声に出す方が脳の記憶を司る海馬という部分を刺激するということが、科学的に明らかになっています。テキストのポイント・条文・申請書などいたる箇所、この方法を取り入れるべきです。

そして、この音声学習の最たるものが「シャドウイング」です。「シャドウイング」は、英語学習においてよく使われます。ネイティブが読んだ英文を聴き、すぐにそれを追いかける形で音読します。司法書士試験の出題のメインである条文、及び、登記の申請書でこの「シャドウイング」を取り入れることによって、非常に効率よく条文及び申請書を習得することができます。

# 松本雅典講師からのメッセージ

各予備校に、法律学習未経験の方を対象とした基礎講座があります。しかし、どの基礎講座も一発合格者が1人出ればいい方というのが現状です。それでは、司法書士試験に1回の試験で合格することはできないのか？ できたとしても、特別な能力を持った人だけが1回で合格できるのか？ そんなことはありません。

たしかに、これまでの受験界の常識とされていた「情報の一元化」「テキストの勉強はインプット、問題を解くことがアウトプット」「とにかく何度もカッコ問を繰り返す」「記述の申請書は書いて書いて書きまくる」等といった間違っただ勉強法では、一発合格できるのは特別な能力を持った人だけになってしまいます。

しかし、私が提唱している「情報の一元化ではなく検索先の一元化」「アウトプットの最高の教材はテキスト」「カッコ問を何回も回すという方法ではなく、よりレベルの高いアウトプットをする」「条文・記述の申請書は、シャドウイング・音読学習法で」等といった正しい勉強法を採れば、特別な能力がなくても、働きながらであったとしても一発合格が可能です。

私は、従来の勉強法と全く異なったこれらの勉強法を『司法書士5ヶ月合格法』（自由国民社刊）という本に書きました。本講座は、まさにこの本に書いている勉強法を具現化した、従来の基礎講座とは全く次元の異なる基礎講座です。

講座をご受講して頂くにあたって、みなさんにお願ひがあります。それは、「自転車は必ずご自身の力でこいで下さい」ということです。どういうことかと言うと、司法書士試験とは、たとえて言うなら東京から大阪までの道のりです。みなさんは、東京から（ゼロから）スタートして、大阪（合格）を目指します。もちろん、どの道を通るべきか（何をどこまで勉強するべきか）は、私が見せます。他の予備校では用意してくれない自転車（効率の良い勉強法）も用意します。しかし、自転車はみなさん自身でこいで頂かないと（きちんと勉強して頂かないと）、大阪（合格）に到着することはありません。自転車までは用意できますが、自動車や新幹線は用意できません。しかし、きちんとこいで頂ければ（きちんと勉強して頂ければ）、必ず大阪（合格）にはたどり着きます。それだけは、お約束します。

松本 雅典

